

北小物語2018



平成30年 5月25日
平戸市立田平北小学校
学校便りNo. (16)
校長 曾川 和則

◇◇◇ 『いのち』『いし』『いし心』 たゆみなく流れて清き「わが田平北小」 ◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆☆☆ 第16話：『いのち』を育てる～北っ子の生活科・総合学習の学び～の巻 ☆☆☆



5年「米作り」

「いのち」を育てる北っ子の学び

今年も森さんのお米作りが始まりました。5年生の総合的な学習の時間（以下総合学習）「田植えをしよう」です。北小では、毎年、永田地区在住の森喜一郎様にご指導いただき、5年生が総合学習で田植えや稲刈りの体験活動を行う「お米作り」の学習を行っています。古くは縄文・弥生時代から日本人の主食とされてきたお米を自分たちの手で育て、収穫し、いただくことを通して、「食の大切さ」を学びとともにお米にかかわる「もの・こと・ひと」を追求する学習を展開していきます。「いのち」を育てるこの学びは、子どもたちの心の中に感謝の気持の種を蒔くこともねらいとしています。普段、何気なくいただくご飯に多くの人の手と人の思いが詰まっていることを実感できるよう、学びを深めていきます。5月22日（火）に種もみを蒔いたトレイは、5年生教室のベランダに並べられています。5年生の子どもたちが、毎日水をかけ、声をかけて一生懸命お世話をしていきます。黒い土の布団から、早く緑色の芽が出ますように。稲が大きくなったら6月中旬以降に永田地区の学習田で「田植え」を行う予定です。

1年生は朝顔です！

入学して2か月目の1年生。毎日元気に登校する37名は、まさしく北小の「朝の顔」です。

ということで・・・？1年生は「朝顔」の栽培に取り組んでいます。ふかふかの黒い土に小さな黒い種を植えてから約2週間。出ました！出ました！小さな芽が今では双葉を広げ、1年生の子どもたちと一緒に空に向かって伸びようとしています。自分たちが毎朝、朝ご飯を食べるように、登校すると「はい、朝ご飯だよ！」と言って水やりをする子どもたち。これから何色の花をいくつ咲かせるでしょうか。生活科の朝顔栽培の学習は、算数のたし算・ひき算の学習へとつながっていきます。



2年生は「野菜」シリーズ！



中庭で、植木鉢の中をじっくり観察しているのは2年生です。鉢の中にはミニトマトが育っていました。赤い宝石のような実がたくさんつく日を思い描きながら、大切に「いのち」を育てていきます。2年生の畑には、パプリカやナスなど、いろいろな野菜もすくすく成長しています。ズラリと並んだ3年生の植木鉢には「枝豆」。特別支援学級の畑にも、元気な野菜たちが初夏の日差しににっこりです。植物のお世話を通して、「いのち」を育み、思いやりと感謝の心を培います。

